

# 徳島県の地震

平成30(2018)年6月

## 目次

### 徳島県の地震活動

震央分布図・断面図	…	1
概況	…	1~2
徳島県で震度1以上の揺れを観測した地震の表	…	2~3
震度分布図	…	3~4

### 地震メモ

全国地震動予測地図 2018 版の公表について	…	5
-------------------------	---	---

\* 「徳島県の地震」は月1回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

\* 本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

\* 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

\* この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図 25000（行政界・海岸線）を使用しています。

\* 全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。  
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaq.html>

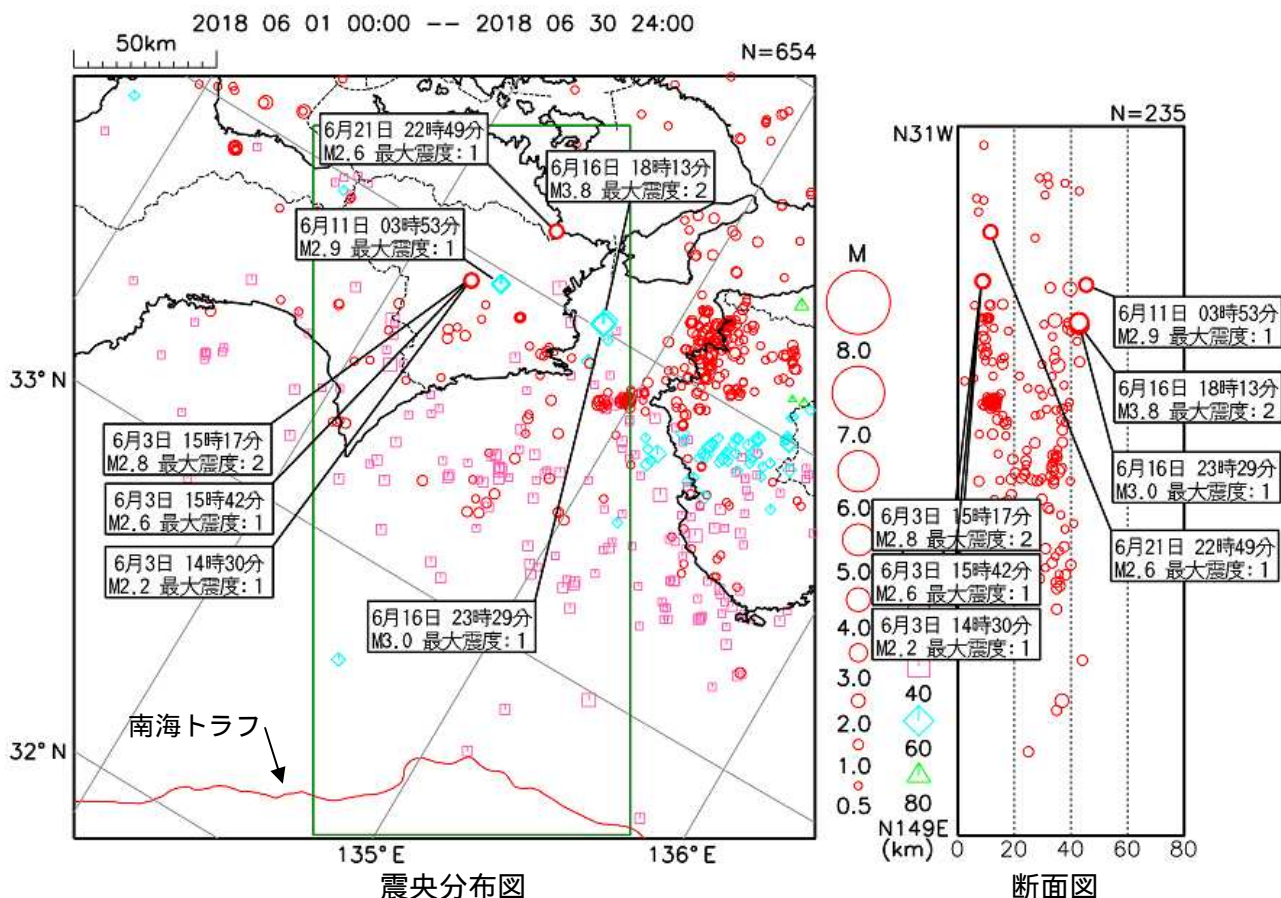
\* 大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。  
<http://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

## 徳島地方気象台

(<https://www.jma-net.go.jp/tokushima/>)

# 徳島県の地震活動

## 震央分布図・断面図 2018年6月1日～2018年6月30日



- ・ M0.5以上の地震を表示。
- ・ 震央分布図中の緑色の長方形内の地震を北東側から見た断面図を右に表示。
- ・ 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさでマグニチュード(M)の大きさを、シンボルの形状と色で震源の深さ(震央分布図のみ)を区分。
- ・ 図中のコメントは、徳島県で震度1以上を観測した地震の発生日時・マグニチュード(M)、最大震度(徳島県内の最大震度とは限りません)。

## 概況

2018年6月に徳島県で震度1以上を観測した地震は9回でした(前月は2回)。震央分布図の範囲内でM2.0以上の地震は32回(前月は21回)、断面図の範囲内でM2.0以上の地震は16回(前月は9回)でした。

3日14時30分 徳島県北部の地震(M2.2、深さ9km)により、美馬市で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

3日15時17分 徳島県北部の地震(M2.8、深さ9km)により、美馬市で震度2を観測したほか、つるぎ町で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

3日15時42分 徳島県北部の地震(M2.6、深さ9km)により、美馬市で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

11日03時53分 徳島県北部の地震(M2.9、深さ45km)により、勝浦町で震度1を観測しました。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

16日18時13分 紀伊水道の地震(M3.8、深さ43km)により、小松島市、美馬市、阿南市、石井町、牟岐町、那賀町で震度2を観測したほか、県内の14市町村で震度1を観測しました。また、兵庫洲本市、和歌山県御坊市で震度2を観測したほか、近畿、中国、四国地方で震度1を観測しました。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

16日23時29分 紀伊水道の地震(M3.0、深さ43km)により、小松島市、阿南市で震度1を観測しました。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

18日07時58分 大阪市北部の地震（震度分布図範囲外：M6.1、深さ13km）により、徳島市、鳴門市、小松島市、松茂町で震度3を観測したほか、県内20市町村で震度2～1を観測しました。また、大阪市北区、高槻市、枚方市、茨木市、箕面市で震度6弱を観測したほか、関東、東海、甲信越、北陸、近畿、中国、四国、九州地方で震度5強～1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

21日22時49分 香川県東部の地震（M2.6、深さ12km）により、石井町で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

26日17時00分 広島県北部の地震（震度分布図範囲外：M5.0、深さ12km）により、徳島市、鳴門市、吉野川市、美馬市、阿波市、三好市、つるぎ町で震度1を観測しました。また、島根県飯南町、広島県三好市、庄原市で震度4を観測したほか、近畿、中国、四国、九州地方で震度3～1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

**徳島県で震度1以上の揺れを観測した地震の表** 2018年6月1日～2018年6月30日

発震日（年月日時分） 各地の震度（徳島県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2018年06月03日14時30分 震度 1：美馬市木屋平*	徳島県北部	33° 55.2' N	134° 14.5' E	9km	M2.2
2018年06月03日15時17分 震度 2：美馬市木屋平* 震度 1：つるぎ町貞光*、つるぎ町半田*	徳島県北部	33° 55.3' N	134° 14.5' E	9km	M2.8
2018年06月03日15時42分 震度 1：美馬市木屋平*	徳島県北部	33° 55.3' N	134° 14.5' E	9km	M2.6
2018年06月11日03時53分 震度 1：勝浦町久国*	徳島県北部	33° 57.6' N	134° 20.7' E	45km	M2.9
2018年06月16日18時13分 震度 2：小松島市横須町*、石井町高川原*、美馬市木屋平*、阿南市山口町*、阿南市羽ノ浦町*、牟岐町中村*、那賀町延野* 震度 1：徳島市大和町、徳島市津田町*、徳島市新蔵町*、鳴門市撫養町、鳴門市鳴門町*、佐那河内村下*、神山町神領*、藍住町奥野*、板野町大寺*、吉野川市鴨島町、吉野川市川島町*、吉野川市山川町*、吉野川市美郷*、つるぎ町貞光*、阿波市阿波町*、阿波市吉野町*、徳島三好市池田総合体育館、阿南市富岡町、阿南市那賀川町*、勝浦町久国*、上勝町旭*、那賀町横石、那賀町和食*、那賀町木沢*、美波町西の地*、美波町奥河内*、海陽町大里*	紀伊水道	34° 01.1' N	134° 45.4' E	43km	M3.8
2018年06月16日23時29分 震度 1：小松島市横須町*、阿南市羽ノ浦町*	紀伊水道	34° 01.7' N	134° 45.4' E	43km	M3.0
2018年06月18日07時58分 震度 3：徳島市大和町、徳島市津田町*、徳島市新蔵町*、鳴門市鳴門町*、小松島市横須町*、松茂町広島* 震度 2：鳴門市撫養町、石井町高川原*、北島町中村*、藍住町奥野*、板野町大寺*、上板町七條*、吉野川市鴨島町、吉野川市川島町*、吉野川市山川町*、美馬市脇町、美馬市美馬町*、阿波市市場町*、阿波市土成町*、阿波市阿波町*、阿波市吉野町*、阿南市富岡町、阿南市山口町*、阿南市那賀川町*、阿南市羽ノ浦町*、牟岐町中村*、那賀町和食*、美波町西の地*、美波町奥河内*、海陽町大里* 震度 1：佐那河内村下*、神山町神領*、美馬市穴吹ふれスポ公園、美馬市木屋平*、美馬市穴吹町*、つるぎ町貞光*、つるぎ町半田*、徳島三好市池田総合体育館、徳島三好市池田中学校*、東みよし町加茂*、勝浦町久国*、上勝町旭*、那賀町横石、那賀町木頭和無田*、那賀町延野*、海陽町奥浦*、海陽町穴喰浦*	大阪府北部	34° 50.6' N	135° 37.3' E	13km	M6.1
2018年06月21日22時49分 震度 1：石井町高川原*	香川県東部	34° 11.6' N	134° 25.4' E	12km	M2.6

2018年06月26日17時00分 広島県北部 34° 55.8' N 132° 52.3' E 12km M5.0  
 震度 1：徳島市大和町, 鳴門市鳴門町\*, 吉野川市鴨島町, 美馬市脇町, つるぎ町貞光\*  
 阿波市市場町\*, 徳島三好市池田総合体育館, 徳島三好市池田中学校\*

- ・ 震源要素（緯度・経度・深さ・マグニチュード）は暫定値。
- ・ 地点名の後に\*がついている地点は、気象庁以外の観測点。

**震度分布図（×印は震央）**

6月3日14時30分

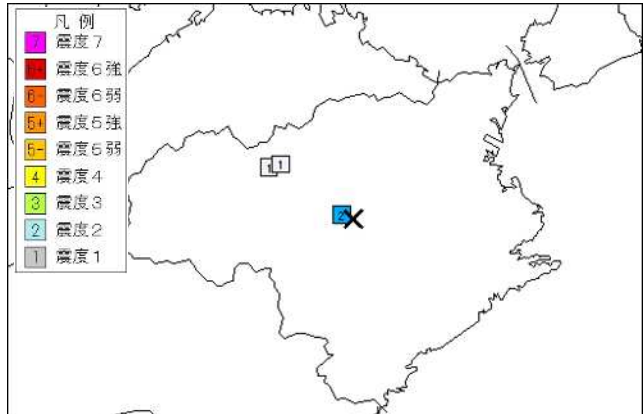
徳島北部の地震（M2.2、深さ9km）



観測点別震度分布図

6月3日15時17分

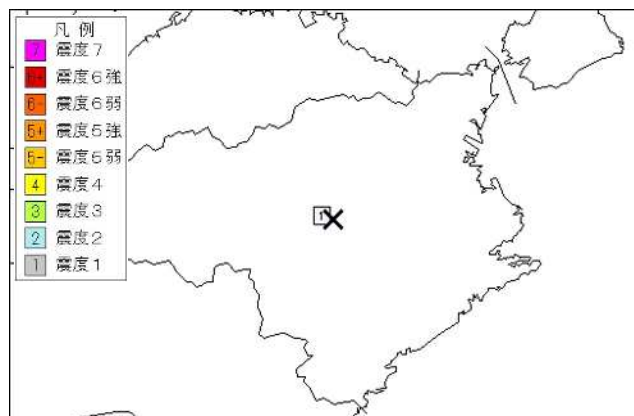
徳島北部の地震（M2.8、深さ9km）



観測点別震度分布図

6月3日15時42分

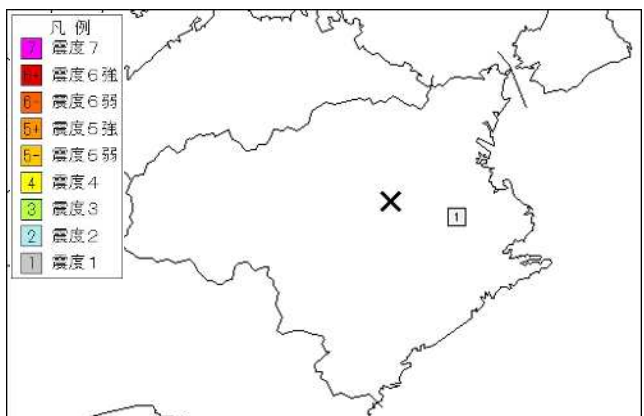
徳島県北部の地震（M2.6、深さ9km）



観測点別震度分布図

6月11日03時53分

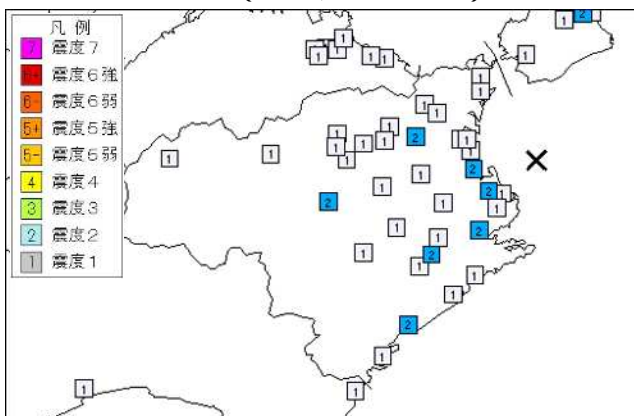
徳島県北部の地震（M2.9、深さ45km）



観測点別震度分布図

6月16日18時13分

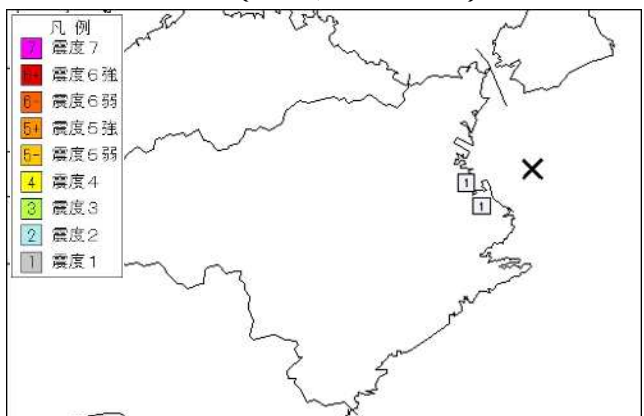
紀伊水道の地震（M3.8、深さ43km）



観測点別震度分布図

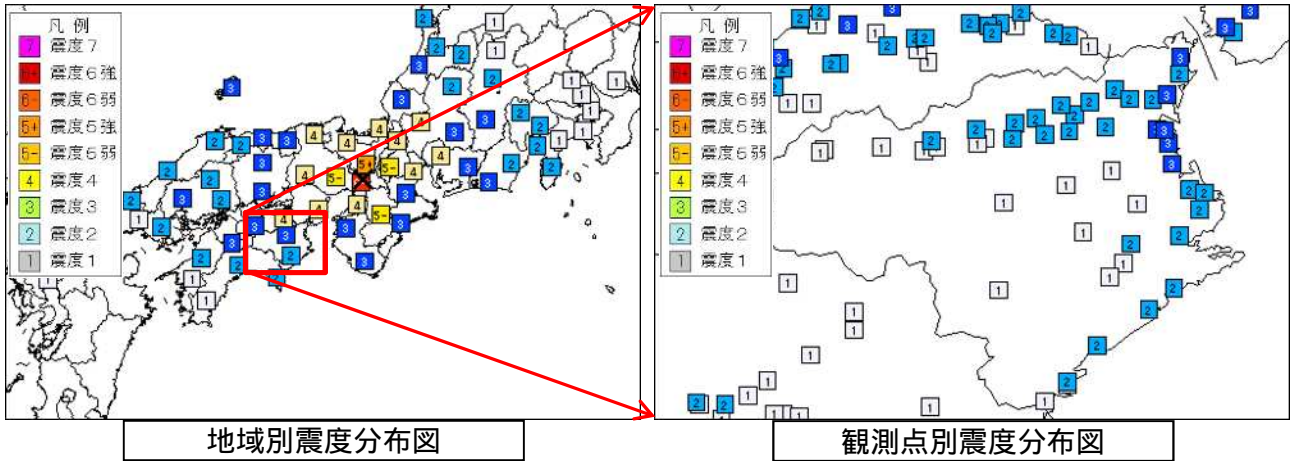
6月16日23時29分

紀伊水道の地震（M3.0、深さ43km）



観測点別震度分布図

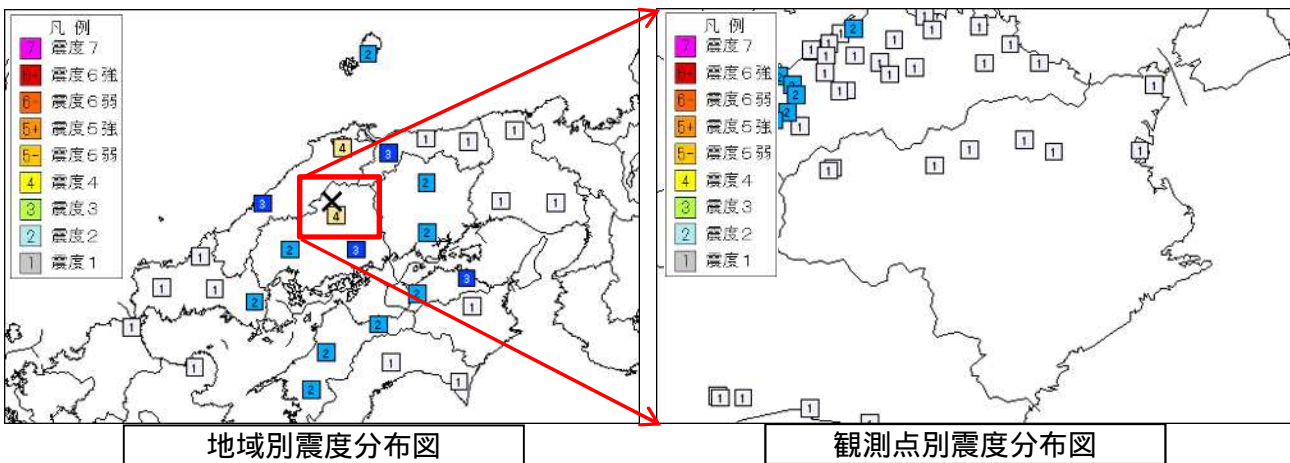
6月18日07時58分 大阪府北部の地震 (M6.1、深さ13km)



6月21日22時49分  
香川県東部の地震 (M2.6、深さ12km)

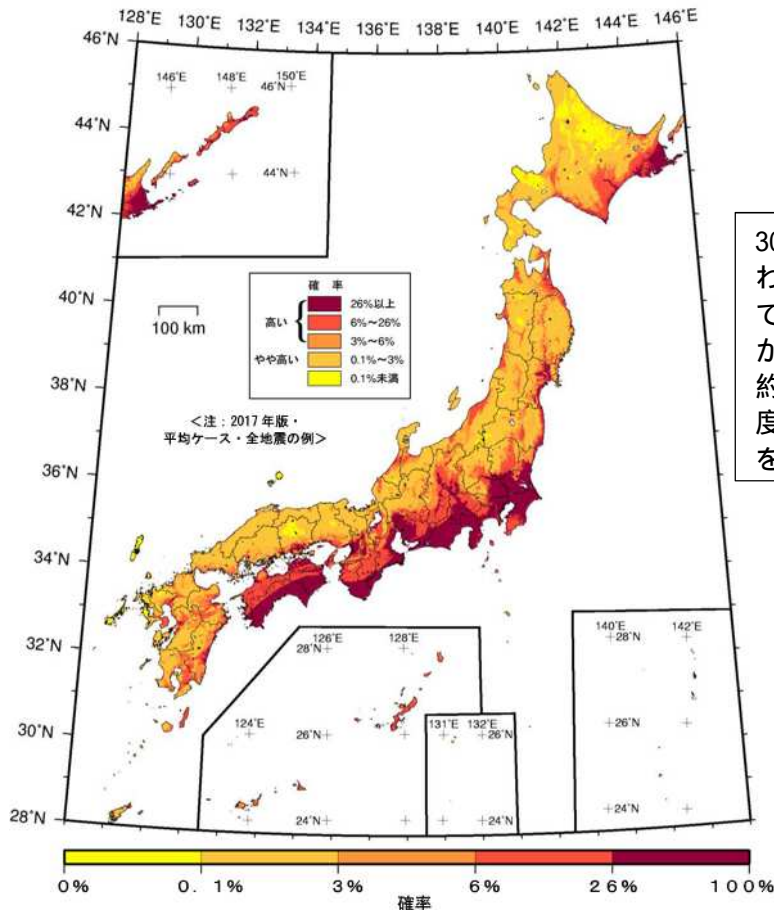


6月26日17時00分 広島県北部の地震 (M5.0、深さ12km)



## 【地震メモ】全国地震動予測地図 2018 版の公表について

全国地震動予測地図 2018 年版が、平成 30 年 6 月 26 日に地震調査研究推進本部から公表されました。その中で確率論的地震動予測地図について紹介します。確率論的地震動予測地図とは、日本とその周辺で発生する全ての地震の位置・規模・確率に基づき、各地が今後見舞われる揺れ(地震動)の「強さ」・「期間」・「確率」の情報を地図に示したものです。強さ・期間・確率のうち 2 つの値を固定すると、残り 1 つについての地図を描けます。下図は、「2017 年から 30 年間に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率」を示した地震動予測地図です。「その場所で地震が発生する確率」ではなく、「日本とその周辺で発生した地震によってその場所が震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率」を表しています。(注：日本領土のうち南鳥島と沖ノ鳥島では、計算に必要な基データが整備されていないため、地図が作成されていません。湖沼・河川は、白色に表示されています。なお、モデル計算条件により確率がゼロのメッシュも、白色に表示されています。)



30 年間に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率が 0.1%、3%、6%、26% であることは、それぞれごくおおまかには、約 30,000 年、約 1,000 年、約 500 年、約 100 年に 1 回程度、震度 6 弱以上の揺れに見舞われることを示します。

### 【確率の地域差】

日本は世界的に見ても地震による危険度の非常に高い国ですが、図を見ると、国内でも地域によって揺れの確率には差があることが分かります。地震には、陸のプレートの下方に海のプレートが沈み込んでいる海溝沿いで発生する「海溝型地震」(例：2011 年東北地方太平洋沖地震)と、陸域の浅いところで発生する「陸域や沿岸海域の浅い地震」(例：1995 年兵庫県南部地震)があります。海溝型地震の発生間隔は数十年から百年程度と比較的短いため、特に、沖合に海溝がある太平洋側の沿岸地域を中心に揺れの確率が高くなります。一方、陸域の浅い地震の発生間隔は一般に千年以上で海溝型地震と比べると長いため、特に、海溝から離れた地域での揺れの確率は全般に小さくなります。但し、日本列島には未知の活断層を含め多くの活断層が分布しており、全国どこでも強い揺れに見舞われる可能性があります。

### 【地震の揺れやすさと揺れの確率】

地図を良く見てみると、平野部や河川沿いなどでは揺れの確率が高いことが分かります。これは、平野部や河川沿いなどは、地盤が軟らかく揺れやすいためです。地盤の揺れやすさは場所によって大きく異なるため、揺れの確率も場所によって大きく異なることとなります。